

あけぼの

曙

第81号

編集・発行 兵庫県立盲学校(視覚特別支援学校)同窓会
会長 大村 耕治

令和4年8月

会誌「曙」第81号

————— 目 次 —————

毎日覚えておくべき大事な四つのと(同窓会会長)	1
同窓会報「曙」に寄せて (校長)	2
母校だより	3
令和4年度第1回理事会議事録	5
令和3年度事業報告	8
令和4年事業計画	9
令和4年度人事異動	10
新会員紹介	12
お知らせ	13
編集後記	15

毎日覚えておくべき大事な四つのこと

兵庫県立盲学校同窓会
会 長 大村 耕治

一つ目、幸せは自分の内から生まれます。自分の幸せを他人に頼らないように。

二つ目、パーフェクトの人間はいません。自分に優しく、自分を褒めてください。

三つ目、諦めるまで失敗はないのですべては自分次第。

最後四つ目、本当に大事なものはすべて無料です。たとえば優しさ、笑顔、優しい言葉をかけるそしてLOVE.

3年ぶりに、同窓会の理事会と監査会を5月13日（金）に開催いたしました。会誌「曙」の発刊につきましては、事務局の皆様にご迷惑をおかけしている状態です。

点字と墨字の会誌「曙」を、できるだけメール配信に切り替えたいと思いますので、会誌「曙」をご覧いただきメールアドレス登録をお願いいたします。

同窓会の副会長を2名に、理事長、副理事の交代が理事会で承認されましたので、詳しくは会誌「曙」をご覧ください。

同窓会の総会及び親睦会は新型コロナウイルス感染拡大が終息しつつありますが、大人数での会合やマスクなしでの会食は無理と判断して、今年も中止とさせていただきました。来年こそは同窓会が無事に行われますよう希望いたします。

同窓会報「曙」に寄せて

兵庫県立視覚特別支援学校

校長 上井 昌好



同窓会の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育の推進にご理解ご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

校門の桜が美しい4月8日始業式、入学式が挙行されました。授業も始まり、校庭や校舎に子どもたちのはつらつとした活動に満ち溢れています。

昨今、情報社会の次のソサエティー5.0が唱えられている中で、社会変革もはやく、教育や学校のあり方も大きく変わると考えられます。そのような中で職員とともに子どもたちが必要とする教育を実践していくことが大切であると実感しております。

創立117年目をむかえ、本校の歴史と伝統を生かし、さらに新しい時代への対応と地域の期待に応える専門性の高い学校として、充実した教育活動を展開するためには、同窓会のお力添えが必要です。今後とも本校教育活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

母校だより「あはき師国家試験」の動向

理療科 今井 裕二

皆様、こんにちは。コロナ禍での生活も3年目となり、ワクチン接種の普及などで社会生活の制限が多少は緩和されてきましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年度は、3年ぶりの理事会を5月に開催することができましたが、6月に予定していた総会は3年連続の中止が決まりました。来年こそ開催できればと思っています。

さて、今回は「あはき師国家試験」についてお伝えします。今年、2月26日に「あん摩マッサージ指圧師」、翌27日に「はり師」と「きゅう師」の国家試験が実施されました。平成5年に第1回試験が実施されて以降、今年で30回目を迎えました。私は第1回試験を受験し、現在は理療科教諭として毎年受験指導をしています。回を重ねるごとに難易度が上がっている実感があります。問題数は昨年、第29回からそれぞれ10問ずつ増え、「あま指師」で160問、はり師・きゅう師が170問となりました。合格するためには60%以上の正答率が必要となります。試験を主催する東洋療法研修試験財団が公表している試験範囲は、改訂がされる数年毎に広がっており、習得に必要な内容も改定毎に増えています。また、様々な症例に対して対応できる知識を身に着け

ているかどうかを問う問題が増えたことで、より高いレベルでの総合的な思考力や判断力が求められるようになりました。

国家試験は学科のみの実施で地方試験のような実技試験がないため、実技については学校現場において、その資質の判定が担われています。本校では、年度末に総合実技試験を行っています。臨床実習では、外来患者さんに治療を担当するうえで一定以上の力が身に着いているかどうかを評価しています。また、3年生になると、年5回の定期考査に加え、9月・11月・1月に模擬試験を実施しています。さらには、夏休みの特別授業、2学期以降に行う放課後の補習授業等をとおして、生徒たちは国家試験合格に向け必死に受験勉強に取り組んでいます。

3月下旬には合格の吉報が届くことを信じ、受験生たちはコツコツと知識を積み上げていきます。生徒たちへの応援、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 第1回同窓会理事会議事録

日 時：5月13日（金）13時30分～15時30分

場 所：本館4階会議室

出席者（敬称略）

大村、山本（博）、岡崎、間島、安富、柴田、多井
梅木、北川、古賀、中西、山下、今井、神吉

1. 開会挨拶 山本副会長

2. 会長挨拶（大村会長）

3. 学校長挨拶（上条教頭）

4. 出席者自己紹介

5. 議 事

① 令和3年度事業報告（今井）

別紙参照。

② 令和3年度会計報告（岡崎）

別紙参照。

③ 監査報告（間島・安富）

別紙参照。

質疑応答の後、承認された。

④ 役員任期延長と欠員補充について（大村）

現行の役員は令和2年度までの任期であったが、
コロナ蔓延の影響で本来改選予定であった令和3年度

の理事会と総会が中止となり改選することができなかった。また、令和2年度も理事会と総会が中止となり、実質上2年間の活動ができない状況となっていた。そこで現行役員にはもう1年活動していただき、令和4年度までの任期としていただきたい。欠員としては、小丸元副会長の辞任に伴い、新副会長に柴田理事長、新理事長に多井理事長、新副理事長に中西理事を推薦したい。会員の皆様には総会中止に伴い、同窓会誌紙面での承認をいただきたい。

質疑応答の後、承認された。

⑤ 令和4年度事業計画（案）（今井）

別紙参照。

⑥ 令和4年度会計予算（案）（岡崎）

別紙参照。

⑦ 今後の同窓会誌の発行について（神吉）

同窓会誌の点字発行に使用させていただいていた「さつき作業所」が昨年8月に閉鎖となったため、点字印刷できる場所が確保できなくなった。事務局は学校内に置かれているが、現在校内での事務局の占有できる場所は校長から許可されていない。そのため学校での点字発行ができないため、今後は点字印刷を外部機関に依頼せざるを得ない現状である。

審議の結果、会員の皆様に同窓会誌をメール配信できる会員を募集し、来年度以降の墨字と点字の発行数を削減できるように協力を依頼することとなった。

（別紙参照）

⑧ その他

近藤昭二さんから事務局に送付いただいた手紙を紹介された。（別紙参照）

6. 連絡事項

今年4月発令の叙勲において、旭日双光章を梅木理事が受賞された。

7. 閉会挨拶（柴田副会長）

令和3年度 事業報告

- 5月 6日（木） 監査会
- 5月21日（金） 理事会（中止）
- 6月11日（金） 総会、懇親会（中止）
- 8月10日（火） 会誌「曙」第80号発行
（墨字 303 部、点字 209 部）
- 9月24日（金） 校祖墓参（3名参加）

令和4年度事業計画

5月13日（金）	監査会、理事会
6月10日（金）	総会・懇親会（中止）
8月下旬	会誌「曙」第81号発行
9月下旬	校祖墓参

※業権擁護活動「健全なあはき業を守る兵庫県連絡会」
に参加

令和4年度 人事異動等一覧

退職者（再任用を含む）

教諭	寺島	愉美
教諭	豊田	悦子
臨時講師	駒崎	有美
臨時講師	工藤	桂司
臨時講師（養護）	宮永	千賀子
臨時事務員	水嶋	夏音
県立学校業務支援員	坂口	憲三
非常勤講師	木島	沙織
非常勤講師	田中	陽子
非常勤講師	清水	栄里子
非常勤講師	松本	千佳子

転出者

教頭	橋本	文子	県立明石清水高等学校
教諭	岡	達也	県立あわじ特別支援学校
教諭	竹内	健二	県立神戸特別支援学校
教諭	中垣	敏江	県立こばと聴覚特別支援学校
教諭	中澄	美佳	県立神戸特別支援学校
栄養教諭	櫛木	あかね	県立あわじ特別支援学校
主査	稲森	成美	県立農業高等学校
臨時講師	谷山（篠塚）	香乃	県立神戸聴覚特別支援学校
臨時講師	向井	有紀	県立はりま特別支援学校
寄宿舍指導員（臨）	青山	拓夢	播磨町立蓮池小学校
公務員（臨）	芳倉	るり子	公立学校共済組合兵庫支部

着任者		
教 頭	上条 佳伸	本校主幹教諭
主幹教諭	植田 修平	県立神戸特別支援学校
栄養教諭	尾崎はすみ	県立神戸特別支援学校
教 諭	二宮 美華	県立神戸特別支援学校
教 諭 (再任)	片庭 紳輔	県立神戸商業高等学校
教 諭	小西 信恵	県立神戸聴覚特別支援学校
教 諭	立尾 仁	県立いなみ野特別支援学校
教 諭	田中 辰弥	県立はりま特別支援学校
教 諭	岩崎 伸也	初任
教 諭	辻本 実里	初任
主 査	小堀 由政	(公財) 教育振興会
寄宿舍指導員	小西 勝巳	初任
公務員 (臨)	小林 幸枝	県立須磨友が丘高等学校
非常勤講師	山代 陽子	県立のじぎく特別支援学校

新会員紹介

赤井 律輝 さん 高等部普通科

長谷部 雅人 さん 高等部普通科

西澤 康平 さん 専攻科理療科

松苗 貴弘 さん 専攻科理療科

以上4名です。よろしく申し上げます。

お知らせ

- (1) 近藤昭二さんから、事務局に手紙が届きましたのでご紹介します。

「同窓会の皆様」

近藤 昭二

私は3月で95歳になりました。昭和19年4月研究科を修了。ちょうど戦争の中、兵庫県で最初の海軍技療手として東京で100日間の訓練を受け、海軍航空隊で飛行兵のマッサージに参加しました。同期60名のうち20名以上が外地で戦死しました。また、九州の築城(ついき)海軍航空隊にいた昭和20年6月の終戦に近いころ、特攻隊員30名がバットで尻を叩かれているところに居合わせたこともあります。今の日本は良いところです。

私は95年生き、友人知人たちのために60年間、朝夕、法華経を唱えています。文中、「散佛及大集(さんぶつきゅうだいしゅう)」という言葉があります。私は、この言葉が1番大事な事であることを知りました。1つでも良いことをする人が最高の人間「佛」です。大事に命を使い良い一生を送ってください。

- (2) 2022年4月29日付で「春の叙勲・褒章」が発令され、梅木茂樹さんが旭日双光章(きょくじつそうこうしょう)を受賞されました。おめでとうございます。

- (3) 同窓会誌「曙」のメール配信にご協力ください！
- 同窓会誌「曙」は、現在墨字と点字で発行しています。しかし、今年度の理事会報告に記載されたように同窓会誌の点字発行に使用させていただいていた「さつき作業所」が昨年8月に閉鎖となりました。そのため、現在、点字印刷できる場所が確保できなくなりました。その対策として、点字印刷を外部機関に依頼せざるを得ないかと考えています。その場合、点字印刷にかかる費用が大幅に増えることが予想されます。そこで、会員の皆様に墨字や点字の代わりにメールで配信してもよいと思われる方に、ご協力をお願いしたいと考えています。ご協力いただける方は、梅木茂樹さんのメールアドレス ume5151@nike.eonet.ne.jp まで送信ください。その際、題名には「メール配信希望」と入力してください。多くの方のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

皆様には、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの蔓延で大変なことですが、一日も早く収束することを願うばかりです。

今年もコロナ禍の中、会誌発送作業が困難な状況でしたが、皆様のご協力により例年どおり発送できました。

兵庫県立視覚特別支援学校 神吉 信博

〒655-0884

神戸市垂水区城が山 4-2-1

兵庫県立視覚特別支援学校内

兵庫県立盲学校同窓会 TEL 078-751-3291